

With

[ウィズ]

エポ
四国EPO
四国ESDセンター
イーエスディー

活動レポート
2024-2025

#四国 #環境 #教育 #SDGs #パートナーシップ

With 四国

2024-2025

2024年度に、**四国EPO**と**四国ESDセンター**が関わった事業やイベント等、この冊子で紹介しているものを掲載いたしました。※①～⑫は地域ESD拠点(下記)の場所です。

【身近な自然資本の活用に関する意見交換会】
身近な自然を 観る×守る×活かす
⇒持続可能な地域づくり

四国EPO愛媛デスク

地域ESD拠点交流会

四国ESDフォーラム2025

【地域循環共生圏づくり支援体制構築事業】

久万高原町
×
愛媛大学・
株式会社林業商社天空の森

ESDバーチャル大学（現地開催）

・地域イベント×気候変動教育

「SDGsやESDを知ろう！
そしてやってみよう！」

【地域循環共生圏づくり支援体制構築事業】

四国海と生き物研究室
×
特定非営利活動法人
大月地域資源活用協議会

登録年

地域ESD拠点 →13ページ

2017

①新居浜市教育委員会

2018

②高松ユネスコ協会

③IKEUCHI ORGANIC(株)

④(株)ハレルヤ

2019

⑤(株)土佐山田ショッピングセンター

⑥室戸ジオパーク推進協議会

⑦(株)平野 平野薬局

⑧(特非)四国グローバルネットワーク

⑨うどんまるごと循環プロジェクト

2020

⑩(一社)そらの郷

⑪パンゲアフィールド

⑫(株)井上組

2021

⑬(株)相愛

⑭(一社)ノヤマカンパニー

⑮善通寺こどもエコクラブ

⑯(特非)どんぐり王国

2022

⑰えひめ森林公園

2023

⑱(株)タイチ

⑲(公財)大阪YMCA YMCA阿南国際海洋センター

⑳新居浜市生涯学習センター

㉑豊永郷民俗資料館

2024

㉒(一社)りぐる

㉓愛媛ダイビングセンター

㉔(有)ハイプラ

㉕徳島県立あすたむらんど



四 国EPO

「しこくえぼ」と読みます。EPOは「Environmental Partnership Office (環境パートナーシップオフィス)」の略称です。

「環境省地方環境パートナーシップオフィス」は、環境教育等促進法によって、現在、全国8か所に設置されています。四国EPOは2007年1月にスタートしました。

環境に関するいろいろな課題を解決するためには、地域でのパートナーシップが重要です。環境省はそのパートナーシップの構築を進めてきました。四国EPOは、地域のNPO/NGO・企業・行政・市民等が主体的に関わるため、情報の発信や環境教育のサポート、また環境についての相談やコーディネートなどを行っています。

四 国ESDセンター

正式名称は「四国地方ESD活動支援センター」で、環境省と文部科学省によって設置されています。ESD(イーエスディー)は、「Education for Sustainable Development」の頭文字。「持続可能な開発のための教育」と訳されます。EPOと同じく全国8か所にあり、四国は全国に先駆け、2017年7月1日にスタートしました。

四国ESDセンターでは、四国4県で行われるESD活動を支援したり、人材育成、情報収集・共有、学びあいの場づくり、ネットワークの構築などを行っています。同時に、全国や世界とのつながりを活かして、持続可能な社会を目指します。



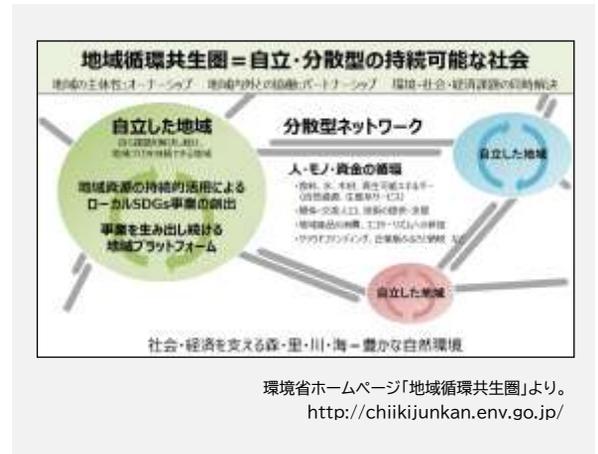
いきじゅんかんきょうせいけん
地域循環共生圏
(ローカルSDGs)

地域循環共生圏とは、2018年に第5次環境基本計画で掲げられた、日本が目指す持続可能な社会の姿。

都市も地方も多くの課題が山積するなか、それぞれの地域が主体的に「自ら課題を解決し続け」、得意な分野でお互いに支えあうネットワークを形成していくことで、地域も国全体も持続可能にしていく「自立・分散型社会」です。地域で環境・社会・経済の課題を同時解決する事業を生み出していくことから「ローカルSDGs」とも呼ばれています。

■ 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

令和6年度より、各地域での地域循環共生圏づくりを更に推進するため、地域循環共生圏づくりに向けた中間支援を行うことができる担い手を増やすことを目的に、「支援体制構築事業」がスタートしました。各地域において、地域循環共生圏づくりに取り組む「活動団体」と活動団体に対して中間支援を行う「中間支援主体」による事業が提案され、本年度は全国で26件、四国では3件が採択されました。四国EPOは環境省四国事務所とともに、地方支援事務局として、中間支援主体に対して伴走支援を行いました。



<中間支援主体>

久万高原町

×

愛媛大学・株式会社林業商社天空の森

<活動団体>

活動のテーマ

『地域循環共生のための

森林アクションプランの作成と関係者協議』

愛媛県内で丸太の素材生産量1位、40%強のシェアを誇る久万高原町において、林地残材を活用した木質バイオマスエネルギー事業などの事業創出とともに、森林の多面的機能を維持し活用しつつ先進的でサステナブルな森林経営を目指す、森林アクションプランの作成を目指しています。

7月・8月にワークショップを開催し、林業関連事業者や森林組合、愛媛大学社会共創学部や産学連携推進本部の先生・学生らが集い、同町の現状と課題を把握し、情報・意見交換を進めています。



<中間支援主体>

四国海と生き物研究室

×

特定非営利活動法人
大月地域資源活用協議会

<活動団体>

活動のテーマ

『ぼちぼち山業で

豊かな生活スタイルで暮らしている人を増やす』

地域循環共生圏事業3年目の高知県大月町では今年度、四国海と生き物研究室が中間支援主体となり、活動団体である特定非営利活動法人大月地域資源活用協議会を支援する体制で事業を進めています。過去2年間で培ったノウハウやつながった人的ネットワークをフル活用し、森林資源を地域の経済発展に結びつけるとともに、森林の適切な保全を通じて、防災や脱炭素等に取り組みます。地域の中間支援機能が発揮される仕組みづくりも進んでいます。



次の世代のために。故郷のために。 楽しみながら、地域を良くしていく。

子どもたちやその先の世代が、より良きふるさとで暮らし続ける。そんな未来を思い浮かべて、わくわくしながら考え、からだを動かす。環境省の「地域循環共生圏づくり支援体制構築事業」が全国で着々と進んでいます。四国での3つの参加団体の活動を紹介します。

<中間支援主体>
認定特定非営利活動法人
とくしまコウノトリ基金
×
一般社団法人とくしまCSA風土
<活動団体>

活動のテーマ
『生産者と消費者が互いに支え合える風土づくり』

環境と調和の取れた食糧システムの確立と、人々の健康、豊かな食文化を未来につなげるため、生産者と消費者をつなぐCSA(Community Supported Agriculture)の仕組みづくりを、活動団体であるとくしまCSA風土が取り組み、とくしまコウノトリ基金が伴走支援を行っています。生産者と消費者をつなげる仕組みづくりを通して、環境に負荷をかけない持続可能な農業の普及と地産地消の推進から、地域の農業経済活性化による市民の健康促進に取り組んでいます。



2024年10月、「中間共有会」を開催。

参加団体と全国・地方支援事務局が集まり、進捗報告や今後の方向性について発表、情報・意見交換を行う「中間共有会」を、徳島県立高丸山千年の森ふれあい館(徳島県上勝町)にて開催。過年度事業卒業団体のかみかつ茅葺き学校に協力をいただきました。

他団体の取り組みを学び、交流を深めることで、改めて自分たちの活動の特徴や課題を把握する機会となり、相互に情報交換を行う関係の構築や実際に現場へ足を運ぶことの重要性等を再認識することができました。



■ 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催

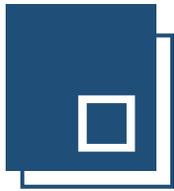
2024年10月15日開催／今治市クリーンセンター(愛媛県今治市)

身近な自然資本活用に関する意見交換会@今治 身近な自然を 観る×守る×活かす ⇒ 持続可能な地域づくり

ウンランなど希少な海浜植物や昆虫などが生息する今治市の織田ヶ浜。令和5年度前期に、多様な主体による保全活動が評価され、「自然共生サイト」に登録されました。今回の意見交換会では、織田ヶ浜において、生物多様性保全を推進する企業、自然観察を継続する中で海ごみ問題にも向き合い始めた小学校、地域の魅力を訪ねる自転車ツアーを企画・運営するNPOなどが登壇。さまざまな社会課題にコミットしている主体が、織田ヶ浜を起点として連携し、地域に活力を与えている様子を確認しました。四国4県からNPO、自治体、企業など31名の参加があり、身近な自然資本を持続的に活用し、地域づくりへとつなげようと、情報・意見交換を進めました。

*「自然共生サイト」とは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のこと。令和5年度よりスタートしました。





四国から成長のカギを探る。 集い、話し合い、行動につなげる。

2025年1月20日開催／高松シンボルタワー・展示場(香川県高松市)

ローカルSDGs四国ネットワーキング会 ー 成長のカギは2つのC ー

脱炭素分野(カーボンニュートラル)、資源循環分野(サーキュラーエコノミー)の2つのCをキーワードに、それぞれの分野で活躍している事業者と取組を進めたい事業者・自治体等が交流できるネットワーキング会を開催しました。

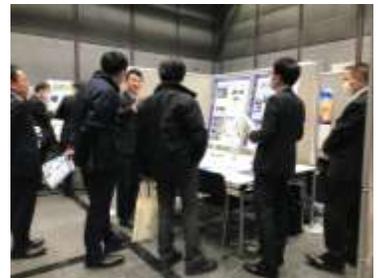
当日は、四国内外から212名の参加があり、基調講演では、東京都環境局気候変動対策部環境都市づくり課より「2030年カーボンハーフ実現に向けた東京都の取組について～建築物環境報告書制度の概要～」、住友化学株式会社炭素資源循環事業化推進室からは、「住友化学の炭素循環をめぐる挑戦」について、それぞれ講演いただきました。

また、後半のネットワーキング会では、24の事業者等がブース出展し、自らの技術、商品、ノウハウ等について紹介いただきました。参加者は自由に各ブースを訪れ、情報交換や今後のそれぞれの取組についてのヒントを得る機会となりました。

共催：環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、ローカルSDGs四国(LS四国)、四国経済連合会
協力：四国経済産業局



基調講演では、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーについて、情報提供がありました。



事業者ブース(24ヶ所)では、参加者が興味・関心のあるブースを訪れ、情報収集や意見交換等を行いました。

2025年3月2日開催／丸亀市生涯学習センター(香川県丸亀市)

多文化共生型の減災社会づくりの実践研修

「多文化共生型の減災社会づくり実践研修in丸亀」を実施しました。JICA四国、四国グローバルネットワーク、ローカルSDGs四国が共催し、高松出入国在留管理局、丸亀市危機管理課、丸亀市国際交流協会、大手前丸亀中学校・高等学校の皆さまにご協力いただきました。

午前中は、「防災」「減災」と「やさしい日本語」の講義の後、①避難行動(揺れマット体験)、②避難所誘導(非言語ツール・サイン)、③避難所(パーテーション、簡易ベッド、段ボールトイレ組立)、④避難所(非常食)の4グループに分かれて説明方法を考え、午後は在住外国人を交えたワークショップをおこないました。中高生が「やさしい日本語」や身振り手振りを使って、午前に学んだことを伝えました。

今回のワークショップでは、在住外国人を含む地域住民への防災・減災教育に加え、異文化理解、多文化共生、開発教育、国際交流等、さまざまな要素を含んだ有意義なものになりました。

主催：JICA四国センター、(特非)四国グローバルネットワーク、ローカルSDGs四国(LS四国)
後援：丸亀市、高松出入国管理局 協力：丸亀市国際交流協会



やさしい日本語や避難行動など、海外の方への伝え方を学生と一緒に考えました。



避難所のベッドや簡易トイレの組立等を実践しました。



エルエス
ローカルSDGs四国(LS四国)は、
環境省中国四国地方環境事務所四国事務所と
四国EPOが事務局を担う四国のプラットフォームです。

応募件数は昨年度の**1.5倍!**
ローカルSDGs四国表彰。

多様な主体を巻き込みながら 幅広い視点で地域課題を考える。

2025年度も開催!
ぜひ応募ください。

第4回を迎えた「ローカルSDGs四国表彰」。
2024年11月18日～2025年1月17日の期間で募集を行い、
志を持って四国で活動している企業やNPO、学校などから17件
の応募がありました。各賞に輝いたのは、下記の5団体。取組を
知ってもらうことで、つながりや活動が広がることを期待してい
ます。



受賞団体と審査委員の方々。

ローカルSDGs四国大賞

地域課題解決部門賞

学生服リユースshopさくらや

「みんなでつなぐ!
ワクワク循環リレー 地域の資源を活かす
セカンドハンドコミュニティプロジェクト」(香川県)



学生服のリユースだけでなく、障がい者雇用や環境教育など幅広い視点で取組を展開しており、取組自体が経済的に循環していることも含め、高く評価されました。
持続可能な取組として、多様な主体を巻き込みながら活動を展開するとともに、ビジネス面でも今後の発展が期待されることから、他の地域にも大きなインパクトを与える活動です。

チャレンジ部門賞

特定非営利活動法人はなもりびと
「母なる大地の再生「名取」地域循環共生圏
プロジェクト～人と自然と土が蘇る!
限界集落再生モデルへの挑戦～」(愛媛県)



多様な専門家を巻き込みながら地域で循環するような取組を工夫して実施している点が評価されました。日本各地で限界集落が増えつつある今、新しい限界集落の仕組みが、構築されるよう期待しています。

ユース部門賞

独立行政法人国立高等専門学校機構
弓削商船高等専門学校

「離島工学に基づく持続可能な地域課題解決プログラム」(愛媛県)



取組が地域・島内で持続可能な形にまとめられていることが評価されました。全国から学生が集まる離島の高等専門学校として、学校の特色を生かした課題解決の取組は、今後、さまざまなテーマへと展開されることが期待されます。

審査委員特別賞

徳島県立城西高等学校神山校

「耕作放棄地「まめのくぼ」を
学び場にした産官学民連携の取組」(徳島県)



耕作放棄地の課題解決は全国的に注目されており、課題に対し高校生が実践的に取り組んでいることが評価されました。耕作放棄地の再生と地域活性化というハードルの高い取組であるだけに、今後の展開が楽しみです。

審査委員特別賞

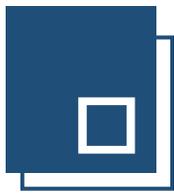
社会福祉法人光志福祉会

「子ども広場、子ども食堂、
子ども教室の取り組み」(香川県)



子ども食堂だけではなく、地元高校生のボランティアの受け入れや施設が地域木材を使ったCLT構造である点等の総合的な取組を評価。多世代交流や再生可能エネルギーの利用など、多方面の取組は他法人にも相互参照が可能です。

※写真はすべてLS四国表彰式(2025年2月20日)の様子です。



ローカルSDGs四国 エルエス (LS四国)

ローカルSDGs四国に参加するだけでなく、同じゴールを目指す者同士がチームを結成。

チームが掲げるテーマに沿ってプロジェクトを立ち上げています。現在、7つの分科会がアクティブに活動中。それぞれの専門知識や経験を活かし、その相乗効果で、四国の地域課題を解決に導きます。

自立した7つのチームが、プロジェクトを推進。

ローカルSDGs四国の原動力、分科会とは？

『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会

2023年8月17日 分科会登録

環境省が推進する『つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト』に賛同し、2024年2月に高松で開催した企業交流会を同年11月に岡山県倉敷市で開催しました。当日は中四国地方を始め、日本国内から130名を超える方が集まり、サステナビリティがもたらす企業価値と地域の発展について議論を深めました。次回は2026年2月に高知で開催を予定しています。沢山の方にお越しいただき、「森里川海」の輪をさらに広げていきましょう。

多文化共生型の減災社会づくり

2021年2月17日 分科会登録

2025年3月に香川県丸亀市で「多文化共生型の減災社会づくり実践研修」を実施しました。JICA四国、四国グローバルネットワーク、ローカルSDGs四国が共催し、高松出入国在留管理局、丸亀市危機管理課、丸亀市国際交流協会、大手前丸亀中学校・高等学校の皆さまにご協力いただきました。今後も在住外国人を含む地域住民への防災・減災教育に加え、異文化理解、多文化共生、開発教育、国際交流等の取組が四国4県で広がるよう、普及啓発を進めます。

四国の森自然再生ネットワーク

2023年2月16日 分科会登録

自然は常に変化していくものなので、「それぞれの活動主体がどういった自然や森を次の世代に残したいのか」「これからつくづく世代(子や孫)はどういった世界(森)を残してほしいと願うだろうか」「先人たちは何を残したかったのか」ということについて想像力を働かせていくことになります。私たちは「四国の大部分の面積を占める森」の再生について考え、ネットワークを構築し、それぞれが情報を発信し共有していきます。

SDGs事業促進検討分科会

2022年4月7日 分科会登録

愛媛銀行、伊予銀行、三井住友信託銀行松山支店が協働して、地域事業者のSDGs取組を、同一の目線で定量評価できるスキームの実現を目指して活動しています。自治体のSDGs認証制度を実装するための支援継続に加えて、①地域事業者に対するSDGs取組の更なる啓発活動、②四国内における「共通のものさし」の利活用拡大にも取り組んでまいります。

南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム

2022年6月16日 分科会登録

液状化メカニズムを学び、関連最新技術及びサービスを紹介し防災意識を高めることを目的とし活動しています。2025年1月には、PDC(地盤の液状化強度を評価する調査技術)コンソーシアム事例発表会へ参加し、石川県内灘町にPDC 実施事例を中心に発表しました。阪神淡路大震災以降、規模の大きい建築物への耐震強化が進んでいますが、戸建て住宅等の建築物への対応は、まだまだ手付かずの状態のため早期の対策が必要と各先生方のご意見がありました。当コンソーシアムでは、少しでも香川県における対策が進むよう努めて参ります。

地域エネルギー分科会

2021年2月17日 分科会登録

四国の環境を考える会(講演会)を2024年11月に高知市で開催しました。四国内の中小企業家同友会環境経営委員会と環境・ディーセントワーク委員会の活動報告に加え、再生可能エネルギーと地域脱炭素ビジネスについて、エネシフ湖北代表の清水広行氏に講演いただき、グループに分かれて意見交換をおこないました。地域脱炭素の取組みは、身近な所から始められることがわかり、実践の輪を広げていくという機運醸成につながりました。

四国ESDチーム

2021年2月17日 分科会登録

2025年2月、愛媛県新居浜市において「四国ESDフォーラム2025」を開催。今年度は「四国の未来をともに創る!!ESD for SDGs」をタイトルに掲げ、新居浜市SDGs推進プラットフォーム全体会と併せての開催となりました。新居浜で育まれてきたESDの学びの元で育った若い世代が、“Think Globally, act Locally”を実践している姿に地域の未来を感じることができました。また、新居浜市SDGs推進プラットフォームの発表、四国の高校生の取組紹介、地域ESD拠点の発表など盛りだくさんの内容でした。



エルエス
ローカルSDGs四国(LS四国)は、
環境省中国四国地方環境事務所四国事務所と
四国EPOが事務局を担う四国のプラットフォームです。

ローカルSDGs四国は、 こんなプラットフォームです。

エルエス
2021年2月、四国のSDGs関係者が集う場として「ローカルSDGs四国(通称:LS四国)」が設立されました。
2024年3月時点の会員数は223、分科会は7つ。地域の課題は山積・複雑化しています。
これからも会員同士が協働しながら解決に向けて進んでいきます。

2024年7月8日開催／高松サポート合同庁舎アイホール(香川県高松市)+オンライン

ローカルSDGs四国総会 & ローカルSDGs四国会員交流会

主催:ローカルSDGs四国

会場とオンラインのハイブリッド形式で開催。昨年度の事業報告から始まり、会員規約の改定、役員を選出、今年度の事業計画までを会員の皆さまにご提案し、全ての議事において承認されました。

ローカルSDGs四国総会終了後は、各々の活動や取組を役員、会員、協力機関の皆さまに周知していただけるよう、今年度からの新たな取組として、団体間で直接情報交換ができる交流会を開催しました。



ローカルSDGs四国会員について

ローカルSDGs四国では、最新の情報や多様なステークホルダーとコラボするきっかけづくり等を提供しています。ローカルSDGs四国会員のみが利用できるオンラインプラットフォームを活用して、会員同士でのコミュニティづくりや情報収集・共有・発信も可能です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

魅力ある持続可能な「四国」を私たちと一緒につくっていきましょう！

■ SDGs経営等の支援

- ・勉強会・交流会への参加
- ・先進事例の紹介や人材育成のサポート
- ・アドバイザーや協力機関などからの助言・協力

■ 情報収集・共有・発信

- ・自社の取組を四国内外に発信
- ・他会員の取組などの情報をいち早く収集

■ マッチング支援

- ・自社の強み(シーズ)を地域課題解決(ニーズ)に活かすマッチングの支援
- ・アドバイザーや協力機関などからの助言・協力

■ 仲間づくり・ネットワークづくり

- ・地域課題解決に向けた仲間づくり
- ・テーマごとの分科会活動を通じて、多様なステークホルダーと連携し、地域課題に貢献

■ 資金調達及び金融連携の支援

- ・ESG金融の取組を促進・支援
- ・国・自治体等の助成制度等の紹介・相談

■ 優良な取組の表彰

- ・表彰制度により、優良な取組を強力に発信(ローカルSDGs四国表彰)

集まっています！
いろいろな分野から

(2025年3月5日時点)

団体会員 **223** 団体 / 個人会員 **5** 名

企業・その他関連団体 (110) / 金融機関 (19) / 自治体・政府関係機関・公益法人等 (51) / 市民団体・NGO・NPO・その他 (38) / 大学・研究機関・教育関連機関 (5)

会費無料



新規会員募集中



お申し込みはこちらから。
https://ls459.net/?page_id=51

Activities

2022.4-2023.3

2023.4-2024.3

四国EPO

情報収集・発信・PR 相談対応・対話の場づくり

地球環境基金助成金説明会 (11/2)
気候変動講演会 (12/18)
第8回かがわ環境活動団体交流会 (2/4)
C7勉強会 (2/22)

気候変動講演会 (10/21)
環境白書を読む会 (10/23)
地球環境基金助成金説明会 (11/6)
第9回かがわ環境活動団体交流会 (12/17)

地域プラットフォームの 環境整備支援等

NTTコミュニケーションズ(株)四国支社(愛媛県鬼北町)
(特非)大月地域資源活用協議会(高知県大月町)

(特非)大月地域資源活用協議会(高知県大月町)
(一社)全国わくわく課協会(香川県東かがわ市)

事業化支援団体の 活動の情報共有

かみかつ茅葺き学校(徳島県上勝町)

かみかつ茅葺き学校(徳島県上勝町)

卒業団体の フォローアップ調査

(認定特非)とくしまコウノトリ基金(徳島県)
(特非)NPO84プロジェクト(高知県)

NTTコミュニケーションズ(株)四国支社(愛媛県鬼北町)

地域循環共生圏構築に 向けた身近な自然資本の 活用に関する意見交換会

物部川流域生態系保全から考える
持続可能な地域づくりへのアプローチ (1/31)
四国の森林活用ダイアログ (2/13)

ローカルSDGs四国

LS四国地域脱炭素推進フォーラムin四国 (7/22)
森里川海ネットワーク形成会議 (11/18)
橋本林業現地視察 (11/19)
第2回ローカルSDGs四国表彰式 (2/22)

LS四国フォーラム (7/7)
対策いろいろ 防災ESD (9/8)
四国地方における地域脱炭素創生ネットワーク会 (11/16)
『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会
<分科会協力> (2/2)
第3回ローカルSDGs四国表彰式 (2/22)
四国連携環境を考える会<分科会協力> (3/19)



◀ 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業中間共有会
由良野の森エクスカーション



▶ G7香川・高松都市大臣会合関連事業
さぬきマルシェinサンポート
～SDGsマルシェ～



◀ 香川大学講義

四国ESDセンター

四国ESDバーチャル大学

●ESD/SDGsツアー ×気候変動教育
第1回「ツアー企画を考えよう！！」(10/21)
第2回「ツアーの商品化を進めよう！！」(11/25)
●暮らし×気候変動教育
「暮らしは断熱でどう変わる？！
ワークショップで実践！」(2/25)

●フェアトレード×気候変動教育
「甘いバナナの苦い現実」(6/22)
●防災×気候変動教育
「災害状況バーチャル体験」(9/8)
●国際×気候変動教育
「気候変動教育プログラム」(1/11)
●ツアー×気候変動教育
「ESD/SDGsツアーってどんなもの？」(1/28)

ESD推進ネットワーク 構築推進

四国ESDフォーラムin新居浜 (2/12)
ESD推進ネットワーク全国フォーラム2022 (12/10)

四国ESDフォーラムin新居浜 (2/12)
ESD推進ネットワーク全国フォーラム2023 (12/9)

地域ESD拠点連携

えひめ森林公園ESDプログラム(えひめ森林公園)

新居浜ESDツアー(新居浜市教育委員会)



◀ ESD推進ネットワーク
全国フォーラム
ポスターセッション



▶ 四国ESDバーチャル大学
「ESD/SDGsツアーってどんなもの？」

◀ 新居浜ESDツアー



Activities 2024.4-2025.3

四国EPO

地球環境基金助成金説明会 (9/28)
第10回かがわ環境活動団体交流会 (12/15)

2024年度より
「地域循環共生圏づくり
支援体制構築事業」

(認定特非)とくしまコウノトリ基金 × (一社)とくしまCSA風土(徳島県)
久万高原町 × 愛媛大学・(株)林業商社天空の森(愛媛県)
四国海と生き物研究室 × (特非)大月地域資源活用協議会(高知県)

かみかつ茅葺き学校(徳島県上勝町)

身近な自然資本活用に関する意見交換会@今治
身近な自然を観る×守る×活かす⇒持続可能な地域づくり (10/15)
第4回自治体デジ博ー環境ー (2/19)

ローカルSDGs四国ネットワーキング会 - 成長のカギは2つのC - (1/30)
第4回ローカルSDGs四国表彰式 (2/20)
多文化共生型の減災社会づくり実践研修in丸亀 (3/2)

2025年度
地球環境基金
助成金説明会
(9/28)



第10回
かがわ環境活動団体
交流会(12/15)



- 地域イベント×気候変動教育
「SDGsやESDを知ろう！そしてやってみよう！」(8/3)
- 環境白書×気候変動教育
「読んでみよう！環境白書」(10/21)
- ジオパーク×気候変動教育
「のぞいてみようジオパークの世界」(12/15)

四国ESDフォーラムin新居浜 (2/9)
ESD推進ネットワーク全国フォーラム2024 (12/1)

地域ESD拠点交流会 (2/8)
えひめ森林公園ESDプログラム(えひめ森林公園)



ESD推進ネットワーク
全国フォーラム
ポスターセッション
(12/1)



四国ESDフォーラム2025
(2/9)

四国ESDバーチャル大学
「SDGsやESDを知ろう！
そしてやってみよう！」
(8/3)



情報発信・収集、PR

ホームページや各種SNS【Facebook、Instagram、X(旧Twitter)】、メルマガ(月1回発行)等で、情報を発信しています。



ホームページ内の
「四国のおすすめ」の記事は、
英語・中国語での発信も
行っています！

・新聞から

地元の情報が豊富な四国四県の地方紙をくまなくチェック。データベース化しています。

・イベントから

いろいろなイベントに参加し、出会いの中から新たに活動を知ることもあります。

・メールなどから

ほぼ毎日、メールや郵便物での情報提供があります。



イベント出展(随時)
チラシ(イメージ)



相談対応・対話の場づくり

四国EPOには、電話やメール、来訪等によってさまざまな相談があります。

また「対話の場」からパートナーシップを広げるために、四国EPOはたくさんの催しに関わっています。

いろいろな人や団体がつながることで、力を合わせて、複雑化した地域の課題を解きほぐしていきましょう。

四国ESDセンター



四国ESDバーチャル大学

ESDとの出会いが、 地域の未来を変える力に。

「四国ESD バーチャル大学(学びあいプロジェクト)」は、
どこにいても気軽にESDに触れていただけるよう、オンライン等で学びの場を提供しています。
「〇〇×気候変動教育」をテーマに3回開催。
さまざまな分野を気候変動教育とつなぎ、私たちにできることは何かを探してみました。

出張リアル企画！

地域イベント×気候変動教育

1. SDGsやESDを知ろう！ そしてやってみよう！

2024年8月3日(土) 10:00~16:00 参加者:70名
会場:八幡浜市水産物地方卸売市場

「地域が学べば地域が育つ」を合言葉に実施された地域SDGsイベントへ参画。参加者へのアンケートからESD/SDGsについての体験、経験を重ねた人のほうがより関心が高くなる傾向にあることがわかりました。



魚を釣ってSDGsクイズに挑戦！



環境白書×気候変動教育

2. 読んでみよう！環境白書

2024年10月21日(月) 13:00~14:30
参加者:76名 オンライン開催

ESDや環境をテーマとした情報は専門学部以外で学ぶ機会が少なく、情報提供の機会を得ることで、これからの学びの方向性や実践へつながる可能性があることを確認することができました。



ジオパーク×気候変動教育

3. のぞいてみよう ジオパークの世界

2024年12月15日(日) 10:00~11:30
参加者:22名 オンライン開催
協力:室戸ジオパーク推進協議会
(一社)りぐる

「豊かな資源を活用し、地域でしかできない学びを提供する」という考えを生かすことの重要性等を、みんなで考える機会となりました。



<参加者の声(アンケートより抜粋)>

自分では考えつかなかった様々な意見を聞けて考えが広がった。

生まれ育った四国に地球を感じられる場所があることに驚きと、自慢のような気持ちになりました。

いろいろな視点や経験、立場の方が話す
ということが大事

高校生と一緒にウチワサボテンを駆除して商品開発を行っているのもすごく興味がわきました。豊かな資源を活用し、室戸でしかできない学びを提供するという考え方がとてもすてきだと思いました。街を元気にする取り組みを行いたくさんの方とコミュニケーションをとることが大切だと改めて感じました。



四国ESDフォーラム

四国のESDここにあり！ 年に1度のビッグイベント。

ESDはSDGsにとってとても重要な役割を果たします。

地球上にあるさまざまな問題を少しでも解決するため、一人ひとりが自分にできることを考え、やってみるための学び、それがESDです。

「四国ESDフォーラム2025」では、地域をよりよくするための取組が四国各地から大集合。当日の様子をご紹介します。

新居浜市 SDGs 推進プラットフォーム 紹介(分科会活動発表)



SDGs未来都市に選定されている新居浜市。SDGsの機運を高めるために設立された プラットフォームの取組が紹介されました。

【発表団体】

- ・アサヒユウアス株式会社
- ・新居浜市生涯学習センター

四国のユースESD/SDGs事例発表



ユースの発表は、四国各県から参加。幅広いテーマが取り上げられ、地域にある学びの多様性や可能性を感じる時間となりました。

■新居浜市教育委員会

新居浜市のコミュニティスクールについて

■徳島県立徳島科学技術高等学校 環境土木コース

藍染コンクリートの活用方法の研究

■香川県立高松高等学校 香川県人道プログラム

杉原千畝・幸子氏から広がる人道の輪

～高校生同士の交流が世界へと繋がる～

■愛媛県立東予高等学校 写真新聞部 & 有志

古代紙と蜜蝋の科学—古代エジプトからのものづくり—

■高知県立室戸高等学校 はちきんツインズ2

地元のジオパークの情報を活す～実践的な防災教育～

●同じ年代の学生たちがする活動を知ることができ、今後の活動を考える時の新しい指針を見つけるヒントにすることができた。(アンケートより)

オープニングコンサート♪



愛媛ジュニアオーケストラの演奏で華やかにスタート。

防災体験



午前中の参加者は地震などの疑似体験や火災時の煙からの避難、初期消火等を体験し、防災について学びました。

ESD for SDGs リレートーク

昨年度、一昨年度は歴代教育長や先生方から新居浜のESDについてお話いただきましたが、今年度はその学びのバトンを受け、成長した生徒のみなさんが主役。社会人となったユースの皆さんによるリレートークが行われました。



●若者が育っていて素晴らしい。若者の背中を推せる大人として、個人として自分にできることを模索したい。(アンケートより)

四国の地域 ESD 拠点による発表

四国4県の地域ESD拠点による取り組みが紹介されました。

【徳島】 公益財団法人大阪YMCA YMCA阿南国際海洋センター

【香川】 高松ユネスコ協会

【愛媛】 株式会社タイチ

【高知】 室戸ジオパーク推進協議会

四国ESDフォーラム2025

日 時: 2025年2月9日(日)10:30~16:00

場 所: 新居浜市消防防災合同庁舎 5階 災害対策室

(愛媛県新居浜市一宮町1丁目5-1) 並びに オンライン

共 催: 四国地方ESD活動支援センター(四国ESDセンター) 環境省中国

四国地方環境事務所四国事務所 新居浜市 新居浜市教育委員会

協 力: 四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)

後 援: 徳島県教育委員会 香川県教育委員会 愛媛県教育委員会 高知県

教育委員会 ESD活動支援センター 特定非営利活動法人持続可能

な開発のための教育推進会議(ESD-J)



地域ESD拠点 in四国

学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいます。そうした現場のESDを支援・推進する組織・団体等を「地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)」として登録しています。

四国には現在25の地域ESD拠点が、それぞれの得意分野を生かしながら持続可能な四国を目指しています。

株式会社ハレルヤ



SDGsの取り組み説明に真剣に耳を傾ける小学生

株式会社井上組



未来の担い手に向けて『建設機械乗車体験』

徳島県立あすたむらんど



女子中高生の理系進路選択支援保護者説明会

善通寺こどもエコクラブ



聴診器で木の声を聞いてみよう！

株式会社平野 平野薬局



社員の家族の学生さんたちが「働く意味とは？」についてインタビュー

NPO法人どんぐり王国



耕作放棄地の活用(高校生によるヤギ園作製)

新居浜市生涯学習センター



自然探訪(別子銅山跡地で大自然に戻った山を観察)

室戸ジオパーク推進協議会



世代も国も超え、地域行事を盛り上げる！

一般社団法人りぐる



佐喜浜商店街に再び活気を！さきはまびより

一般社団法人そらの郷



世界農業遺産の暮らしの知恵を民泊で体験

公益財団法人大阪YMCA YMCA阿南国際海洋センター



課題を見出し自分事において考える、無人島での活動

高松ユネスコ協会



ユネスコ・サマースクール絵画教室

新居浜市教育委員会



ユネスコ全国大会開会式

NPO法人四国グローバルネットワーク



四国初！ティンビラ(ユネスコ無形文化財)演奏チーム「RTF」結成！

えひめ森林公園



えひめ森林公園ESDプログラム

愛媛ダイビングセンター



地域愛を育む海洋教育体験型環境学習(中学校)

株式会社相愛



里山の春の植物たち

パンゲアフィールド



インセンティブツアー(海外)

有限会社ハイプラ



プラスチックを知って「ペットボトル博士」になろう！

うどんまるごと循環プロジェクト



エコツアーでさめきうどん作りを体験！

IKEUCHI ORGANIC株式会社



職場体験学習(えひめジョブチャレンジU-15)

一般社団法人ノヤマカンパニー



森のようちえんの一コマ(森の中でクッキング)

株式会社タイチ



済美高校生45名と一緒に海ゴミ問題を学ぶ！

株式会社土佐山田ショッピングセンター



日章小学校カツオ薫焼きタタキ体験

豊永郷民俗資料館



人と自然 道具と技術 豊永郷 土佐高校生見学

「環境教育・ESD実践動画100選」に選定！

パンゲアフィールド、公益財団法人大阪YMCA・YMCA阿南国際海洋センター、株式会社タイチの動画が、環境省の「環境教育・ESD実践動画100選」に選定されています。ぜひご覧ください。



ここからアクセス！



ESD活動支援の基本。

情報収集&発信

四国のESD/SDGsに関する情報を収集し、ホームページやメルマガ、Facebookで発信。今年度からはXやInstagramも始めました。イベントだけでなく、助成金情報やアワードなど幅広く紹介しています。

また、毎月第一水曜日は西日本放送ラジオ(RNC)でSDGsにつながる活動を紹介。多様なゲストからお話を伺い、地域の取組がどうSDGsにつながっているのか、私たちにできることは何かを紹介することができました。



生放送でお届け！

かがわ国際フェスタ2024/ 国際ふれあい広場(高知) 出展

ESD/SDGsに関する情報収集・発信を行いました。SDGs達成には世界中の国の協力が欠かせません。ここではさまざまな国や文化の交流を通じて、新しいつながりが生まれました。



かがわ国際フェスタ2024



国際ふれあい広場(高知)



相談対応

四国ESDセンターはESDやSDGsに関することを気軽に相談できる場所です。今年度もメールや電話、面談など、さまざまな方法でみなさんからの相談をお受けしました。

<相談事例>

学校現場での気候変動教育の課題について知りたい。

リカレント教育の進め方について、意見交換したい。

地域ESD拠点について詳細を知りたい。

探究学習の進め方についてアドバイスがほしい。

SDGsの子ども向けの資料がほしい。

ユネスコスクールの取組について具体的な内容を知りたい。

地域ESD拠点交流会

地域におけるESD活動を支援し、地域ESD拠点同士の交流を図ることを目的として開催。

最新情報の提供や、「地域ESD拠点としてやりたいこと・やってみたいこと」をそれぞれに書き出すことで、新しいアイデアや連携の可能性を探る機会となりました。



えひめ森林公園ESDプログラム

えひめ森林公園では、学校が活用できるESDプログラムの開発を進めています。令和6年度は、伊予中学校1年生が「私たちの社会と森林」をテーマとしたプログラムを実践しました。

午前中は森林に詳しいガイドと公園を散策し、私たちが樹木をどのように活用してきたを確認した後、キャンプ場で



防災食づくりを体験。午後は同日の講師やガイド、県の森林整備担当者など、森林に関わる仕事・活動をしている方々にインタビュー等を行い、森林について多角的に学びを深めました。

 **四国EPO** 四国環境
パートナーシップ (四国エポ)
オフィス
Shikoku Environmental Partnership Office

TEL. 087-816-2232 FAX 087-823-5675
4epo@4epo.jp https://4epo.jp/



 **四国地方ESD活動支援センター**
Education for Sustainable Development (四国ESDセンター)

TEL. 087-823-7181 FAX 087-823-5675
info@shikoku-esdcenter.jp https://shikoku.esdcenter.jp/



〒760-0019 香川県高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎南館2階
open:月~金曜 9:00~18:00 close:土・日曜 祝日 年末年始

■ 徳島デスク TEL. 080-4035-4593

〒770-8008 徳島市西新浜町2丁目3-102 エコみらいとくしま内
open:火~金曜 9:30~18:00 close:土・日・月曜 祝日 年末年始

■ 愛媛デスク TEL. 080-4999-4591

〒790-0803 松山市東雲町5-6 (特非)四国グローバルネットワーク内
open:月~金曜 9:00~18:00 close:土・日曜 祝日 年末年始

■ 高知デスク TEL. 080-4998-4592

〒780-0935 高知市旭町3丁目115 こうち男女共同参画センター3階 (特非)環境の杜こうち内
open:月曜 9:00~17:00 / 火~金曜 9:00~18:00
close:第2水曜 土・日曜 祝日 年末年始



ローカルSDGs四国 (LS四国)

TEL. 087-816-2232
FAX 087-823-5675
info@ls459.net
https://ls459.net/



Facebook ▶ shikokuEPO



Instagram ▶ shikoku_epo



X (旧Twitter) ▶ shikoku_epo



- 共用スペースのご利用、資料・書籍・電子情報等の貸し出しについてはお問い合わせください。
- スタッフ不在の場合もございます。ご訪問の際にはあらかじめスタッフの在室をご確認ください。
- 高松サンポート合同庁舎では、入口受付で身分証等の提示が必要です。ご準備の上、ご来所ください。

- JR高松駅から徒歩約3分。
 - ことடன்高松築港駅から徒歩約7分。
- ※お車で越しの際は、合同庁舎南側(JR高松駅側)にある車両出入口からお入りください。駐車台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関等をご利用ください。

受託団体: 特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク

四国EPOと四国地方ESD活動支援センターは、特定非営利活動法人四国グローバルネットワークが環境省中国四国地方環境事務所四国事務所と協働で運営しています。

